

## 第Ⅷ部 付録編

### (1) 地震対応自己診断チェックシート

静岡県博物館協会 地震対策ワーキンググループ  
地震対応 自己診断チェックシート

3つの項目に分けて、地震への備えや対応へのチェック項目があります。「はい」「いいえ」「わからない」「該当しない」「A」「B」「C」のいずれかにチェックをしながら進んでください。

- A：すぐに対応できる、またはすぐに行える  
B：予算次第で実行できる  
C：館長など上役の決済がおりれば実行できる

#### (ア) 災害からお客様を守る

静岡県博物館協会には公立施設の他に多くの民間施設が加盟しています。公立施設の場合は基本的に耐震性に考慮した設計がなされており、建物の安全性は最低限確保されていると言ってよいでしょう。ところが、民間施設の場合、地震災害が発生した場合、真っ先に建物の倒壊、破損が想定される場合が多いのです。これはすなわち、そこに働く従業員は勿論、来館中の観覧客にも生命の危険が及ぶということなのです。

この項では災害発生時にどのような手順で、お客様の安全を確保するか、また怪我人への対応、その後のケア等、サービス業として心がけておかなければならない心得を確認したいと思います。

1.) 非常時への備え	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.従業員に防災教育を施し、定期的に防災訓練を行っていますか。					A・B・C
2.実際に災害が発生した場合の、指示系統、役割分担等を示したマニュアルは整備されていますか。					A・B・C
3.救出・救護等に必要の救急資材、担架等は常備されていますか。					A・B・C
4.飲料水、食料(非常食)、毛布等、災害時に必要な物資は確保されていますか。					A・B・C
5.一般家庭ではラジオを常識的に備えていますか、貴館に非常用のラジオは使える状態で装備されていますか。					A・B・C
2.) 東海地震観測情報、注意情報、予知情報への対応について	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.地震情報は第1段階の観測情報から第2段階の注意情報を経て第3段階の予知情報に至り警戒宣言が発令されます。デパートなどでは第2段階の注意情報が出た時点で閉店する取り決めになっていますが、貴館での対応は決まっていますか。					A・B・C
2.注意情報や予知情報が出た場合、館内放送で来館客に情報提供し、退館を促すこととなりますが、放送原稿などのマニュアルは準備されていますか。					A・B・C
3.県地域防災計画には文化財の倒覆等による人的被害を防ぐ耐震対策の実施が盛り込まれていますが、貴館では展示品等に耐震対策がなされていますか。					A・B・C
4.前記3の設問にはいと答えた方は、具体的にその内容を列記してください。					A・B・C
3.) 災害発生時の来館者対策	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.園館職員が総出で来館客を安全な場所に誘導するのは当然ですが、エレベーター、密室等への閉じ込めに即対応できるようになっていますか。					A・B・C
2.死者などが想定される場合、入館者数と避難客数の数的確認が優先されるべき課題です。貴館では常に入館者数を把握していますか。					A・B・C
3.停電で館内放送が使えなくなっても来館者への避難、誘導の案内は必要です。拡声器等が使える状態で常備されていますか。					A・B・C

4.自館の場合は当然ですが、二次的に近隣で火災等が発生した場合、貴館は消火活動に協力できますか。					A・B・C
5.救急車が期待できない場合、怪我人を医療施設へ運ぶのは、怪我人の発生した園館の責任です。そのような状況に対応出来る人材や車両が確保できますか。					A・B・C
6.適切な避難誘導が完了した時点で、園館の責任は果たされたと思いますが、僻地施設の場合、避難客のその後の食事の心配までしなければなりません。貴館はそのような必要性を感じますか。					A・B・C
7.前記6の設問にはいと答えた方におたずねします。貴館ではそのような状況を想定して非常食等を常備していますか。					A・B・C

#### (イ)避難民への対応

(ア)では開館時の入館者の安全確保を考えましたが、災害発生からある程度の時間経過した時や、突発型地震の場合には、博物館園はその公共的な性格から災害避難民が集まることが予想されます。ここでは、入館者の安全確保した後、または、突発型地震発生後の対応について考えてみましょう。各博物館園は設立母体や環境が異なるので、自らの置かれている立場を確認し、館園と職員の行動計画を立てることが必要でしょう。

1.) 災害時における地域と博物館園の連携	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.博物館が所在する地域の防災計画を知っていますか。					A・B・C
2.その防災計画に博物館が位置づけられていますか。					A・B・C
3.博物館の周辺に指定の避難所がありますか。					A・B・C
4.病院関係者が、救急施設をその避難所で開設しますか。					A・B・C
5.災害時に博物館は応急対策機関または施設に指定されていますか。					A・B・C
6.発生時に博物館を避難場所とする可能性がありますか。					A・B・C
2.) 被災者への博物館園の対応	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.閉館時に災害が発生した場合、または突発性地震が発生した時に博物館が行う事務分掌が決められていますか。(複数回答可)					A・B・C
	利用者の避難誘導・被災者の保護・施設の保全 資料の保全・応急復旧対策・その他				
2.閉館時または突発性地震が起きた時に職員またはそれに相当する人が博物館の災害対策に対応するように決められていますか。					A・B・C
3.公立館にお聞きします。災害時対応マニュアルで職員が博物館から離れて自治体の規定などで行動するように定められている場合、博物館園の管理(二次災害・盗難防備など)を決めていますか。					A・B・C
4.博物館の災害対策に避難民への対応が含まれていますか。					A・B・C
5.もし、博物館が避難場所になるとすれば、予想される避難民はどのような人たちですか。(複数回答可)					博物館見学者・観光客・一般住民・その他
3.) 災害時に於ける博物館園の相互応援態勢	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.災害発生時に博物館では他機関との相互応援体制を決めていますか。					A・B・C
2.その対象は博物館ですか。(設問1が「はい」の場合) その対象は県内ですか。					A・B・C
3.相互応援態勢を計っている博物館に伺います。協定書または、それに類するものを締結していますか。					A・B・C

4.博物館で相互応援態勢を整えた場合、その中に災害避難民への対応を含めるべきだと考えますか。					A・B・C
5.災害発生時に所在地の行政機関と被害状況を確認するシステムがありますか。					A・B・C

#### (ウ) 博物館資料の保全

博物館の収蔵資料を、地震などの緊急災害から守るためには、日常からの備えが必要です。組織やマニュアル作り、管理態勢作りなどのソフト面と、施設や設備、備品のメンテナンスや調達などのハード面、両面から総合的に対策をとっておくことが必要です。

自館の特性に合わせて、必要か否かを検討しながらチェックを進めてください。

1.) マニュアル、組織について	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.資料に対しての緊急災害時対応マニュアルはありますか。					A・B・C
2.緊急災害時の組織表はありますか。また、その中には資料保全担当が割り当てられていますか。					A・B・C
3.資料保全を目的とした定期的な防災訓練はおこなっていますか。					A・B・C
4.資料所在簿は定期的にメンテナンスされていますか。					A・B・C
5.資料救助の際の優先順位リストはありますか。					A・B・C
2.) 施設の管理について	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.漏電のチェックは定期的に行っていますか。					A・B・C
2.建物の歪みによって扉が開かなくなることも考えられます。その場合の対策と用意はありますか。					A・B・C
3.よって温湿度管理が行えなくなることが考えられます。その場合の対策は講じられていますか。					A・B・C
4.日常の管理として、定期的な保管庫の状態確認を行っていますか。					A・B・C
5.日常の管理として、定期的な展示室の状態確認を行っていますか。					A・B・C
3.) 被害に備えて	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.証明器具などの落下による二次災害への対応は考えられていますか					A・B・C
2.漏水・漏電等による二次災害への対応処置は考えられていますか					A・B・C
3.災害時の盗難防止対策は講じられていますか					A・B・C
4.収納棚や収納具の転倒防止対策はできていますか					A・B・C
5.資料は、梱包または保存箱に入れて収納していますか					A・B・C
6.収納棚には、資料の落下防止のために、前面ストッパー等を取り付けていますか。					A・B・C
7.引き出し型の収納棚には、飛び出し防止のロックがありますか。また、習慣的にロックをかけていますか。					A・B・C
8.絵画ラックには、飛び出し防止のロックがありますか。また、習慣的にロックをかけていますか。					A・B・C
9.絵画ラックには、落下防止対策に適切な吊り金具を使用していますか。					A・B・C

10.展示ケースの転倒防止策は行っていますか。					A・B・C
11.展示には、落下防止対策に適切な吊り金具を使用していますか。					A・B・C
12.窓・展示ケース等のガラスには飛散防止フィルムが貼られていますか。					A・B・C
13.自立掲示板への転倒防止対策はできていますか					A・B・C
14.資料自体の転倒防止対策はできていますか					A・B・C
15.展示ケース内には、湿度調整水など二次的被害をもたらすものをおいていませんか。					A・B・C
4.) 資材について	はい	いいえ	わからない	該当しない	チェック
1.防災備品を設置していますか。					
2.前記1の設問にはいと答えた方へ。その設置場所については、職員が周知していますか					
3.前記1の設問にはいと答えた方へ。備品の定期的なメンテナンスは行っていますか。					
4.収蔵資料に応じた救済資材を用意していますか					
5.災害後の記録作業に必要なカメラ、フィルム、筆記用具は用意してありますか					

静岡県博物館協会 研究紀要 平成16年度 第28号 (平成17年3月31日発行)<sup>7</sup>

<sup>7</sup> [http://www.shizuhaku.net/pdf/28\\_02.pdf](http://www.shizuhaku.net/pdf/28_02.pdf)

## (2) 緊急時館内アナウンスの英語例文

災害時に来館している外国人に適切に情報を伝達するため、外国語の案内文案や掲示を用意しましょう。館内放送は日本語の他、英語や中国語など来館者の国籍に配慮した言語でも行いましょう。

### ● 地震発生時 : In case of earthquake

地震がありました

There has been an earthquake

頭をかばんなどで守り、余震に備えてください

Protect your head with your bag or else and be prepared for the afterquake (or aftershock)

ガラスケースや高い展示物から離れてください

Stay away from the tall objects and showcases

### ● 火災発生時 : In case of fire

博物館内で火事が発生しました

A fire broke out in this museum

濡れたハンカチまたはタオルで口を覆い、姿勢を低く保ってください

Cover your mouth with a wet handkerchief or towel and keep low, please

非常出口や階段へは急がずに落ち着いて向かってください

Do not rush, please calmly toward emergency exits and stairs

### ● 豪雨 : In case of heavy rain

大雨警報（注意報）が出ています

A heavy rain warning (advisory) has been issued for this area

博物館近くの川が豪雨により増水しています

The river near our museum has been flooded by the heavy rain

### ● 津波 : In case of tsunami

津波の恐れがありますので高台に避難してください

Evacuate immediately to high ground due to (because of) high tsunami risk

### ● その他

落ち着いてください

Remain calm, please (or Stay calm, please)

職員の指示に従って落ち着いて避難してください

Follow the instructions from the staff and evacuate calmly from here

エレベーターを使わず、階段を使ってください

Do not use elevators, use stairs

より詳細な情報を安全な場所でお待ちください

Please wait further information at the safe area

